

# 仏で熱意アピール

## LCWS 東北推進協が派遣団 開幕



世界各地の直線加速器関  
連の研究者らが集う国際学  
会リニアコライダー・ワー  
クショップ(LCWS)は  
23日、フランス・ストラス  
ブルで始まった。本県の  
北上山地(北上高地)への  
超大型加速器国際リニアコ  
ライダー(ILC)誘致を  
進める東北ILC推進協議  
会東北ILC準備室長の鈴  
木厚人県立大学長らが受け  
入れ準備状況を報告し、誘  
致の熱意をアピールする。

同協議会が高橋宏明共同  
代表をはじめとするPR団  
を派遣。本県から鈴木学長  
のほか、同準備室副室長の  
大平尚典企画理事らが参加  
している。鈴木学長はLC  
WS最終日の27日、全体会  
議で同準備室の活動を説  
明。北上山地での電力、水の  
確保策やアクセストンネル  
の最適設置箇所の選定など  
受け入れ態勢を紹介する。

25日の企業セッションで  
は高橋共同代表が地元の熱  
意を伝え、宮城県と東京都  
の企業2社がILC関連の  
部品製造技術をPR。IL  
Cや東北を紹介するブリス  
も設け、研究者とのネット  
ワークづくりも進める。  
地下1000mのトンネル  
に全長31kmの直線加速器を  
設置するILCは、加速器  
施設建設費(労務費を含む)

だけでも1兆円超、年間運  
転費は約490億円に上る  
とされ、日米欧などの主要  
各国が協調して費用負担で  
きるかどうかが課題。世界  
の研究者組織は初期延長を  
20%程度に縮減し、段階的  
に拡張するステージング  
(段階付け)で大幅なコス  
ト削減を図る方針だ。  
鈴木学長は「日本政府が  
ゴーサインを出せばすぐに  
でも建設に取りかかれるよ  
う地元は準備を進めてい  
る。政府にも早期決断を求  
めていると伝えたい」と強  
調する。  
LCWSは、ILCを含  
む直線加速器の関連技術や  
学術分野について世界の研  
究者が議論を交わす場。約  
300人の参加を見込み、  
ILCのステージングや加  
速装置の性能向上に向けた  
分科会を開く。アジア、ヨ  
ーロッパ、北米の持ち回り  
で開催し、昨年12月には盛  
岡市で開かれた。